# 聖霊降臨後第22主日特祷(特定27)

すべてを治められる全能の神よ、何ものもあなたの大いなる御心に逆らうことはできません。揺れ動くこの世においても、私たちが堅い信仰をもって、常に御国の訪れと御心の成就とを望み、ひたすら主に仕えることができますように。私たちの主、イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン** 

### 旧約聖書 ヨブ記19章23-27節 a

19:23 どうか私の言葉が書き留められるように。どうか碑文に刻まれるように。24 鉄の筆と鉛によって、永遠に岩に彫られるように。25 私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後の日に塵の上に立たれる。26 私の皮膚がこのように剥ぎ取られた後、私は肉を離れ、神を仰ぎ見る。27 この私が仰ぎ見る。

#### 詩編第17編1-9節

- 1 主よ、私の正しさをお聞きください。叫びに心を向けてください | 耳を傾けてください、偽りのない唇から出る私の祈りに
- 2 御前から私のために判決が出され | あなたの目が公平に注がれますように
- 3 あなたは私の心に試練を与え、夜、訪れて私を試みましたが | 何も見いだすこと はありませんでした。たくらみなど口にすることはありません
- 4 人のなすべきことについては、あなたの唇の言葉に従い | 私は無法者の振る舞いを見張ってきました
- 5 私の歩みはあなたの道を守り | 足取りの揺らぐことはありません
- 6 神よ、私はあなたに呼びかけます。あなたが私に答えてくださるからです | 私に 耳を傾け、この訴えを聞いてください
- 7 あなたの慈しみの業を現してください | 攻め来る者から逃れる者を、右の手をもって救われる方
- 8 瞳のように私を守り | あなたの翼の陰に隠してください
- 9 私を虐げる悪しき者から | 私を貪欲に取り囲む敵から

## 使徒書 テサロニケの信徒への手紙二 2章1-5、13-17節

2:1 さて、きょうだいたち、私たちの主イエス・キリストが来られることと、私たちが 御もとに集められることについて、お願いしたいことがあります。2 霊によってであれ、 言葉によってであれ、あるいは、私たちから送られたという手紙によってであれ、主の日がすでに来たかのように言う者がいても、すぐに理性を失って動揺したり、慌てふためいたりしないでほしい。3 誰がどのような手段を用いても、だまされてはなりません。まず、離反が起こり、不法の者、つまり、滅びの子が現れなければならないからです。4 この者は、神と呼ばれたり拝まれたりするものすべてに反抗して高ぶり、神の神殿に座り、自分こそ神であると宣言します。5 私がまだあなたがたのところにいたとき、これらのことを繰り返し話していたのを覚えていないのですか。

13 しかし、主に愛されているきょうだいたち、私たちは、あなたがたのことをいつも神に感謝せずにはいられません。神は、霊による清めと、真理の信仰によって、あなたがたを救いの初穂としてお選びになったからです。14 神は、このことのために、すなわち、私たちの主イエス・キリストの栄光にあずからせるために、私たちの福音を通してあなたがたを招かれたのです。15 そういうわけで、きょうだいたち、しっかり立って、私たちが言葉や手紙で伝えた教えを固く守り続けなさい。16 私たちの主イエス・キリストご自身と、私たちを愛して、永遠の慰めと確かな希望とを恵みによって与えてくださった、私たちの父なる神とが、17 あなたがたの心を励まし、また強め、いつも善い行いをし、善い言葉を語る者としてくださいますように。

## 福音書 ルカによる福音書 20章27-38節

20:27 さて、復活はないと言っているサドカイ派のある者たちが近寄って来て、イエスに質問した。28 「先生、モーセは私たちのために書いています。『ある人の兄が妻をめとり、子がなくて死んだ場合、その弟は兄嫁と結婚して、兄のために子をもうけねばならない。』29 ところで、七人の兄弟がいました。長男は妻を迎えましたが、子がないまま死にました。30 次男、31 三男と次々にこの女を妻にしましたが、七人とも同じように子を残さずに死にました。32 最後にその女も死にました。33 すると復活の時、彼女は誰の妻になるのでしょうか。七人ともその女を妻にしたのです。」34 イエスは言われた。「この世の子らはめとったり嫁いだりするが、35 次の世に入って死者の中から復活するのにふさわしいとされた人々は、めとることも嫁ぐこともない。36 この人たちは、もはや死ぬことがない。天使に等しい者であり、復活の子として神の子だからである。37 死者が復活することは、モーセも『柴』の箇所で、主をアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んで、明らかにしている。38 神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。すべての人は、神によって生きるからである。」